

研究課題名	COVID-19が感染症診療および感染制御に与える影響
研究の意義・目的	大阪市立大学医学部附属病院での血液培養陽性症例数や抗菌薬の使用量、耐性菌の検出状況を新型コロナウイルスの出現前と出現後の期間で比較することにより、COVID-19が感染症診療や感染制御にどのような影響を及ぼしているのかを調査する。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2019年4月から2021年3月までの期間に大阪市立大学医学部附属病院に入院され、血液培養陽性となった方、耐性菌が検出された方
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報： ・血液培養が陽性となった方の14日、28日、30日転機やご年齢、性別、入院された診療科、もともとのご病気、診療情報 ・耐性菌の検出された方のご年齢、性別、入院された診療科、もともとのご病気
情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院感染症内科（大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学教室）のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院感染症内科（大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学教室）のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学 研究責任者:掛屋 弘
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学（大阪市立大学医学部附属病院 感染症内科） （担当者氏名）井本 和紀 電話番号：(06) 6645-3784 メールアドレス：imoto.waki@med.osaka-cu.ac.jp